

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理療法		必修(心) 選択(社.精)	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
中嶋 彩 他	講師控室	kyoumu	授業中、メールあるいは Teams で質問等受付		
授業の目的・概要	<p><目的>心理療法を行うために必要とされる様々な理論や技法について学び、基礎的な知識を学ぶことができ、臨床において必要とされる技術を理解し、説明できることを目的とする。</p> <p><概要>課題学習、同時双方向型授業を通じて、心理療法の基本的な事項について説明したものを、臨床の場において、必要とされる具体的な技術の獲得について説明すること、また架空事例を紹介し、実践的な理解を深めることを目的としたワークシートを行う。課題に対するフィードバック、質疑応答で理解を深める。</p>				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、メールと同時双方向型授業中に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	基礎～学ぶ心理療法/矢澤美香子編/ナカニシヤ出版 必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	よくわかる臨床心理学/下山晴彦編/ミネルヴァ書房 やさしく学べる心理療法の基礎/窪内節子・吉武光世共著/倍風館 等授業の中で紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理療法についての理論や技法について述べることができる。			心(1)、(2)	
②	心理療法の基本的姿勢を学ぶことができる。			心(1)、(2)	
③	心理療法の技法について説明することができる。			心(2)	
④	心理療法を臨床実践の場で活用するイメージができる			心(2)	
⑤	架空事例を通して、心理療法がどのように使われているかを学ぶことができる。			心(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション：授業の概説 心理療法とは何かについて学習する フィードバック：課題について全体講評を行う	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	6	
2	心理療法の技法を知る。面接技術について学習する フィードバック：課題について全体講評を行う	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	6	
3	クライアント中心療法の理論と技法について学習する フィードバック：課題について全体講評を行う	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	6	
4	精神分析学の理論と技法①について学習する フィードバック：課題について全体講評を行う	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	6	
5	精神分析学の理論と技法②について学習する フィードバック：同時双方向型授業において課題にコメントし返却を行う	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	6	
6	行動療法・認知行動療法の理論と技法について学習する フィードバック：同時双方向型授業において課題にコメントし返却を行う	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	6	
7	分析心理学の理論と技法について学習する。 フィードバック：同時双方向型授業において課題にコメントし返却を行う	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	6	
8	ゲシュタルト療法・フォーカシングの理論と技法について学習する	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
9	日本発祥の心理療法(森田療法・内観療法・臨床動作法)の理論と技法について学習する	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
10	交流分析とブリーフセラピーの理論と技法について学習する	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
11	ナラティブ・セラピーと心理劇の理論と技法について学習する	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
12	家族療法について学習する	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
13	遊戯療法・表現療法について学習する	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
14	集団療法やエンカウンターグループの理論や技法を学習する	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	1～14 回の各心理療法についての理論と技法の総括を行う	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。				4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	40	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	授業で学んだ心理療法の基礎的知識および心理療法の技法、臨床において必要とされる技術の理解など、授業で学んだ基礎的な理論について、記述式で試験を行う。				試験結果について講評を行う
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①		各技法の終了時に、心理療法において、自分の意見を述べながら、考察をし、決められた字数に従って、簡潔にレポートにおいて説明することができることを評価のポイントとする。				添削およびコメントを付してレポートを返却する。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業態度やアクティブラーニング時の参加度合いなどにおいて協調性を発揮することができる。				授業内で講評を行う
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>* Teams を使った同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードを行いますので、授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨します。</p> <p>* 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更もあります。</p> <p>担当教員： ◎中嶋 彩、小林 真理子 「心理療法Ⅱ」とともに履修することが望ましい。</p> <p>教員の実務経験： 中嶋は、民間精神科病院・研究機関での心理職、山梨県の相談機関（こころの発達総合支援センター、精神保健福祉センター、児童相談所等）などのスーパーバイザーやアドバイザー、障害者通所施設の施設長。 小林は、民間精神科病院の心理職、山梨県職員（児童相談所、精神保健福祉センター、障害者相談所等）の心理職、厚生労働省発達障害者対策専門官など。</p> <p>実践的授業の内容： さまざまな相談・支援機関や医療機関における事例を理論学習のなかに取り入れ、生き生きとした授業内容にしていく。</p>							